

ウスヒメワラビ

Acystopteris japonica (Luer.) Nakai

メンダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が少なく、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

根茎はやや太く長く這い、葉を散生する。葉は3回羽状複生で両面に白色の軟毛が生える。羽片は対生で鈍角に交わる。葉柄は紫褐色で折れやすい。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

口能登区、南加賀区。

生態など

夏緑生の半地中植物で、繁殖は根茎と孢子による。孢子は夏季に熟し始め、風で散布する。

生育環境

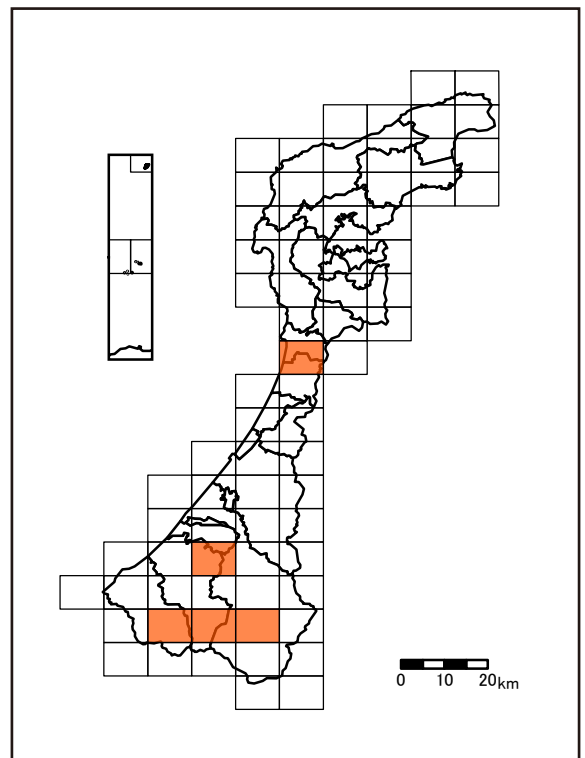
低地から山地帯下部にかけて、陰湿な樹林下の地上に生育する。

危険要因

森林伐採、道路工事、管理放棄、自然遷移、産地局限(口能登区)。



林 二良・2007年5月16日・南加賀



県内の分布